



街道と路地は、歴史の表と裏

くさつまちれきしのさんぽみち

草津まち歴史の散歩道

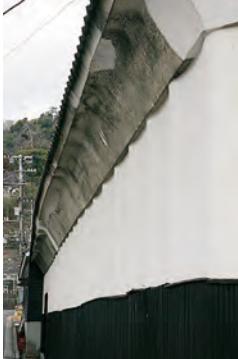
平成18年度認定 / 広島市西区 / 草津まちづくりの会

歴史の町に残る懐かしい風景と暮らし。

広島市西区草津は1000年もの昔から漁業や海運の町として賑わいました。町を東西に西国街道が走り、江戸時代には広島城下と廿日市宿との中継地「間宿」として栄えました。三次藩の茶屋敷や濱田藩の船屋敷も置かれ、街道沿いには立派な大屋根の造り酒屋も残っています。

草津城主であった兒玉家や広島藩浅野

家家老の菩提寺である「海蔵寺」や勇壮なけんか御輿で知られた「草津八幡宮」のふもとを通る道が西国街道です。鷺森神社では境内で歌舞伎が行われ、当時の役者が寄進したのではといわれる手水鉢が残っています。「小泉本店」の二段構えの大屋根は「伊達二階」といわれる平屋で、古くから厳島神社の御神酒を造っている由緒ある蔵



さぎ波のような漆喰が美しい小泉本店の廻だった建物

暮らしが息づかい。
路地に漂う



歌舞伎が行われていたという鷺森神社



けんか御輿で知られた「草津八幡宮」

元にふさわしい重厚さに目を見張ります。

漁業が盛んで「板子一枚下は地獄」と言われたほど常に危険と紙一重の暮らしから生まれた人々の信仰心は、今なお篤く、町の中には左右に20メートル以上も枝を伸ばした樹齢300年の美しい「臥龍松」のある「淨教寺」、4本の柱で支えられた向拝を持つ「教専寺」など由緒ある寺社がいくつも。辻々には地蔵堂や薬師如来堂など地域の人々が大切にお守りしている小さな社やお堂もたくさんあり、どこにもきれいな花が供えられています。

草津は路地の町。街道から葉脈のように

延びる路地を探訪すれば、左官の技と心意気を示す「波うさぎ」「唐獅子牡丹」などの「鎧絵」のある蔵、船板壁やうだつのある古い家、ほうろう看板など懐かしい風景に出合えます。丹精した植木や花が狭い路地を彩り、かまぼこなどの練り製品の加工場から漂ってくるにおいや音に、人々の暮らしが息づかいが感じられます。

草津はかき養殖も盛んで、大阪で評判となつた「かき船」は広島のかきを一躍有名にしました。国道を渡って海に向かって歩くと、「旧草津港の雁木」や「安芸国養蛎の碑」などを見ることができます。

古い歴史のある町ですが、どこよりも庶民の暮らしが感じられるのが自慢です。



「草津まちづくりの会」の
柿岡泉己さん

草津は古い歴史のある町ですが、庶民の暮らしが感じられる町だと思います。路地のあちこちに「鎧絵」のある家や製造販売のかまぼこ店などもあり、路地を案内するととても喜ばれます。3月に行う草津うまいもん市場では、昔を知らない子どもたちにも「細工かまぼこ」作りを体験してもらっています。この町もだんだん高齢化して、古いものが失われつつありますが、ものだけにとどまらない自慢のお宝をみんなで力を合わせて大事にしていかなくてはと思っています。

二葉の里歴史の散歩道 P141



アートのような船板を使った民家が路地に残っています。



町民の貴重な飲用水だった大釣井。海辺の町では貴重な井戸でした。



歴史を説明する看板



交通
● 広島市草津公民館まで
五日市ICから車で約15分
広島高速3号線商工センターから車で約5分
広島電鉄 草津駅から約0.1Km
お問い合わせ
● 広島市草津公民館
082-271-2576

ぶらり歩いてみよう

鷺森神社の手水鉢



幸神社



鎧絵



浄教寺



ガイドさんと歩きませんか?
草津まちづくりの会(草津公民館)
TEL: 082-271-2576

ちょっとウンチク
草津は広島かきの発祥の地であり、かきの登場するイベントも盛んです。街道の近くには事業の立役者小林五郎左衛門の功績をたたえて、「芸芸園養蛤の碑」が建立されています。



イベント・活動

9月第1土曜日 日曜日
草津まちオープンミュージアム



草津のまち全体をミュージアムに仕立て、酒蔵コンサートやギャラリー、実演販売やフリーマーケットなど様々な催しが開催されます。

草津歴史の散歩道ガイド



草津まちづくりの会のガイドと一緒に、蒲鉾工場見学や鎧絵、神社・仏閣などの街の歴史をたどりながら、古き面影が残る草津の街を散策、体感できます。

オススメ周辺情報

- 宮島・厳島神社
- 佐伯歴史民俗資料館
- 平和記念公園